

関東学院大学 学生連携 実施報告

関東学院大学 建築・環境学部の学生の皆様から、水際線エリアの回遊性向上や滞在を促す「点の磨き上げ」「線の創出」に関するアイデアについて、フィールドワーク等によるリサーチを重ね、建築・環境学部ならではの視点で、成果物を作成いただきました。

<p>【フィールドワーク】 日時：2025年10月20日（月）13:00～14:30 場所：山下公園～臨港パーク 参加人数：7人（建築・環境学部）</p>	
<p>【ミニレクチャー（講義）】 水際線まちづくりの基本的方向について 日時：2025年11月21日（金）13:30～14:00 場所：関東学院大学 横浜・関内キャンパス 参加人数：約100人（建築・環境学部）</p>	
<p>【中間発表】 日時：2025年11月26日（金）16:00～17:15 場所：関東学院大学 横浜・金沢八景キャンパス 参加人数：8人（建築・環境学部）</p>	
<p>【最終発表】 日時：2025年12月17日（水）13:00～14:10 場所：関東学院大学 横浜・金沢八景キャンパス 参加人数：10人（建築・環境学部）</p>	

協力：関東学院大学 建築・環境学部／ヤップ・ミンウェイ 氏

関東学院大学 社会連携センター

【学生からの主な意見】

<フィールドワーク>

- まちづくりに興味を持ってもらうためには、今後どのような整備を行うのか、しっかりと知ってもらうことが重要だと感じた。
- これまで、いわゆる水際線エリアに来たことはあるが知らないことが多く、勉強になった。
- 散策など歩く以外にもランニングの人が多くは意外だった。
- 神戸など、他の都市の水際線と比較して、ここにしかない独自のものができると良い。
- 施設間のつながりが見えないのが課題だと感じた。建物・道の色（舗装）とかで工夫できると良いと思った。
- それぞれの空間性も大切にしながら整備が進んでいくといいと思った。
- 何度か横浜に来ることはあり、正直、これ以上に何かする必要があるのだろうかと思っていたが、今回、課題感などを聞いたことで、場所や空間をつなげるアイデアを出していけたらいいと思った。
- 今までも横浜に来ていたが、施設など、改めて常に何かが変わり続けていると感じた。
- そこに居続けたいくなるような場所や空間を提案していきたい。
- 話を聞いて、たしかに魅力が点在していると感じた。統一感のある動線や道が効果的だと思った。



フィールドワークの様子

【学生からの主な意見】

<発表>

- グラングリーン大阪のような緑の使い方（芝生で寝そべる等）や、夜間照明の使い方ができると良い。
- 平日と休日で水際線の顔が違うと感じた。もっとこういうところを見れるとより楽しめます、というような周知ができると良いと思った。
- 市民や様々な人が参加できるまちづくりができると良い。
- 成果物作成のため、リサーチとして水際線に5回行ったが、常に人が多くて撮りたい写真が撮れないほどだった。この人の多さを活かしてよりよい水際線になると良い。
- 白浜があったらより海を感じる事ができて良いと思った。
- 建築的なデザインのものも取り入れて、独自の魅力を作っていって欲しい。
- 可搬式のイスが設置出来れば、各々が自由に座りたい場所を探ことができ、さらに居心地よく座れる場所を見つけることができるのではないか。
- マスコットとなるような親しみやすいオリジナルキャラクターを作成し、サインとして舗装に設置することで、回遊やその場での行動を促すことができると思う。
- 「海が見える」、「海（潮）の香り」、「波音」の3つの感覚を意識し、視点場などを整備できると良い
- 約5kmの水際線がすべて繋がる照明計画ができると良い
- 昼間の水際線は景色が単調であるように感じた。石段などの既存のオブジェクトに彩りを加えることで、あまりコストをかけずに視覚的な楽しさを生み出せるのではないか。
- 「うねうねしたオブジェクト」、「ひらひらした装飾」などの仕掛けをたてみちや各エリアのつなぎ目になるところに設置すれば、子どもも喜び、歩いて楽しいみちになると思う。
- 「水際線の景色」や「水際線の過ごし方」をインスタグラムで発信することでポイントが付与され、そのポイントを水際線の施設で飲食などと交換できるサービスが実施できれば、回遊性が高まるのではないか。

次ページ以降に、学生の成果物を掲載しています。



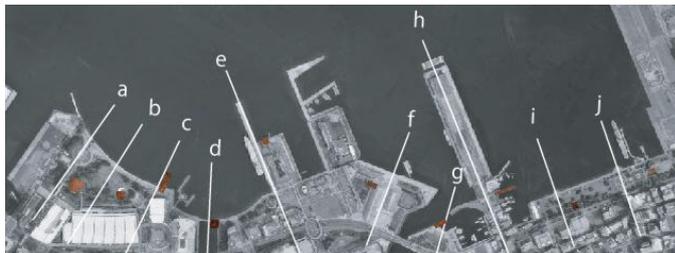
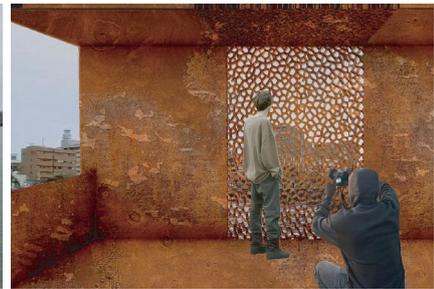
海の視点場

水際に新たな視点場を配置し、訪れた人たちに海を強く感じさせる

①高度により海の見える面積を増やす視点場（例b-b'）



②海に突出し、潮風と波音を感じる視点場（例g-g'）



応用例



視点場のみ



商業施設併設

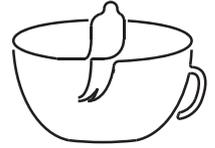
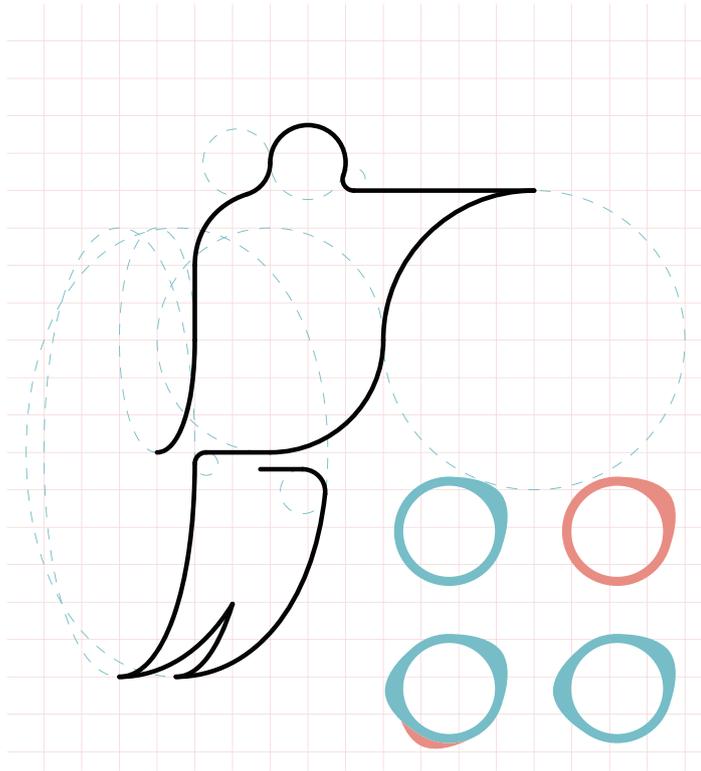
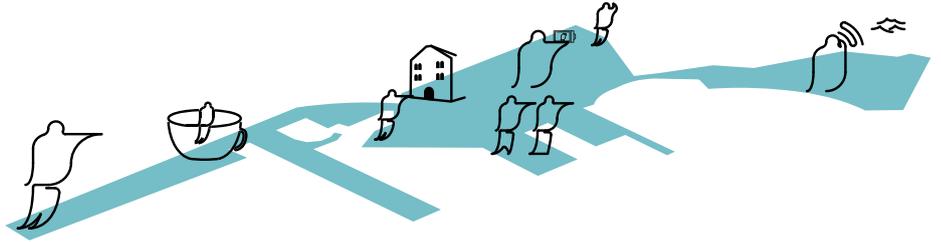


既存建築と接続

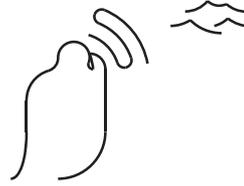
02 なみかぜくんとサイン

学部3年 佐竹 青嵐
学部3年 森川 涼太郎

オリジナルキャラクター「なみかぜくん」と一緒に歩く水際線。なみかぜくんが行きたい場所に連れて行ってくれたり、おすすめのスポットを提案してくれたりします。夜になるとプロジェクションマッピングで照らされ、なみかぜくんのピクトグラムが動き出します。



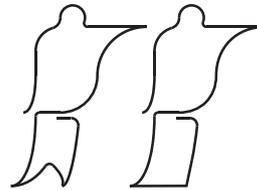
RELAX



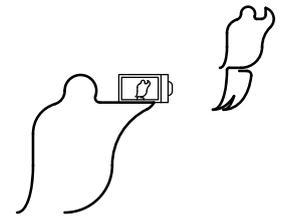
LISTEN



EXPLORE



TOILET



CAPTURE





Suggestion

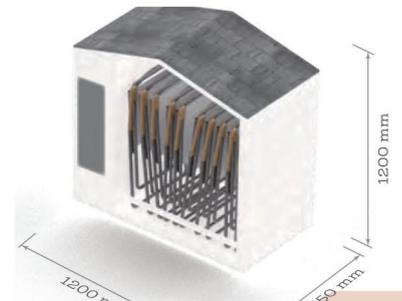
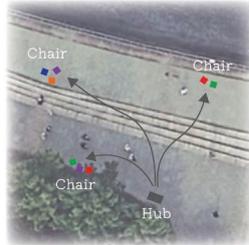


好きな時間に
好きな場所で
好きなひとと
自由に持ち運べるレンタル
チェア
ハマイルス



How to rent

1. アプリで位置と台数を確認
2. QRコードを読み込む
3. その場でかんたん決済
4. すきなものを選んで持ち出して運ぶ



Hub

Statistical Example

同時に借りた人数 座った場所

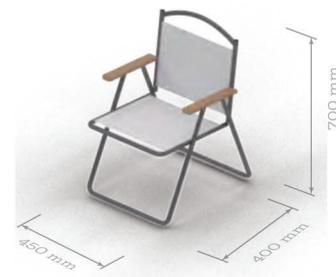


1 person 2 people 3 or more

借りた時間帯

100

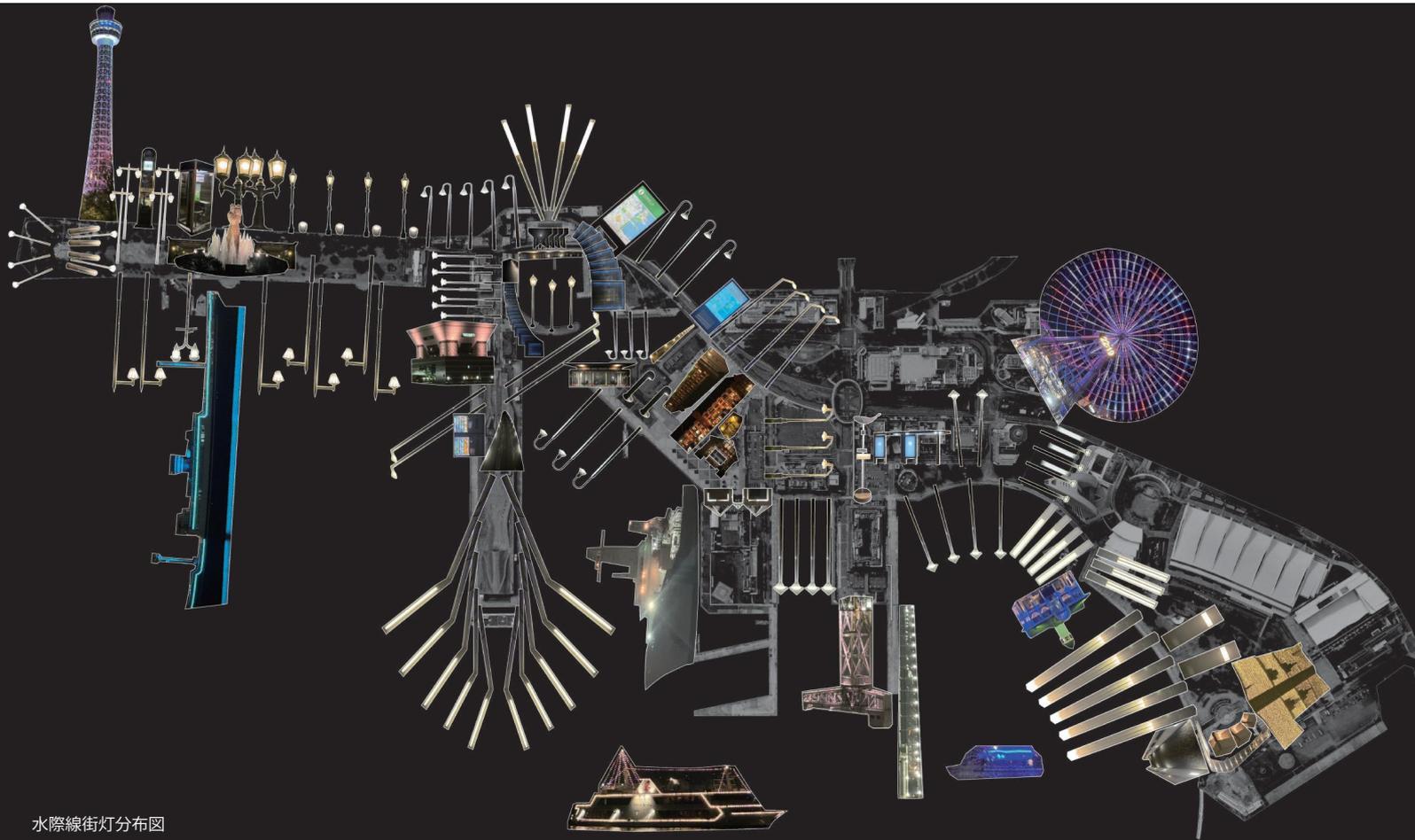
新たな魅力ある場所の発見へ



Chair

Color types

- white
- orange
- purple
- red
- blue
- green



水際線街灯分布図

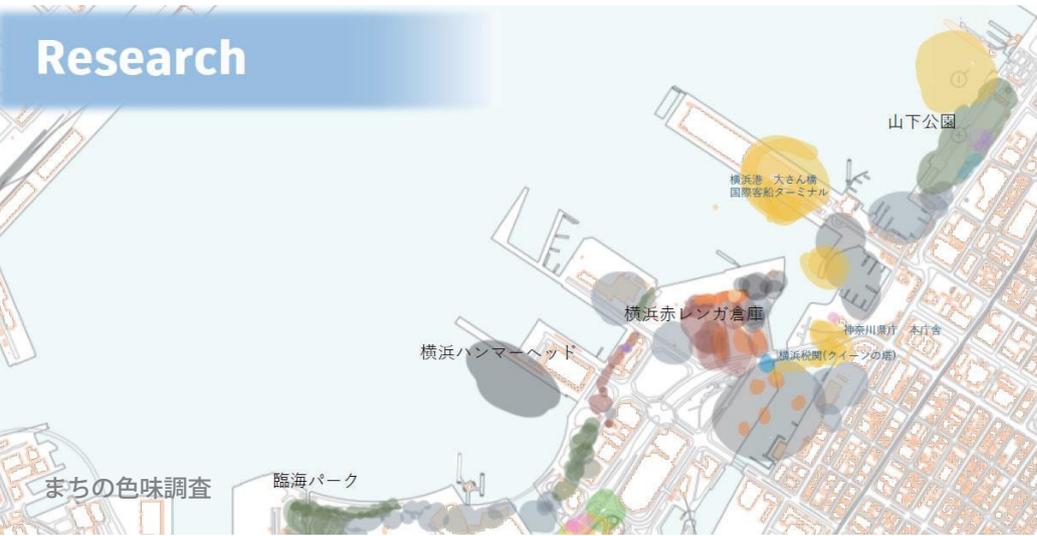
01 現状 / Before



02 提案 / After 光る5kmの臨界線をつくる



Research

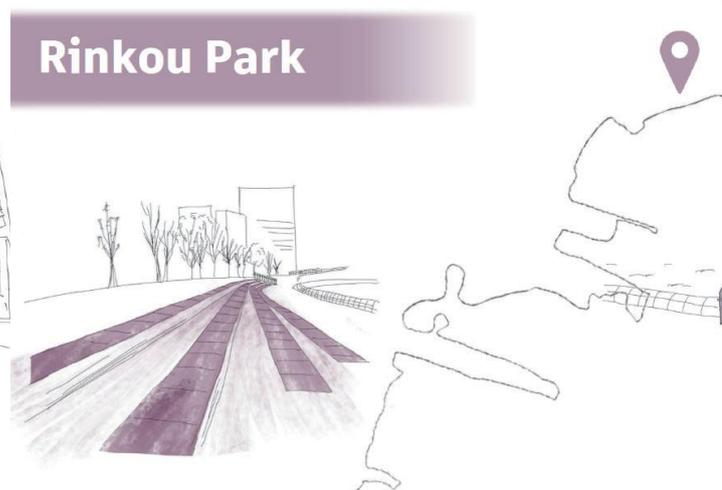


単調な色で
構成されていることが多い
都市の中に「イロドリ」を
意図的に加え、視覚的な楽しさ
や街の活気を演出

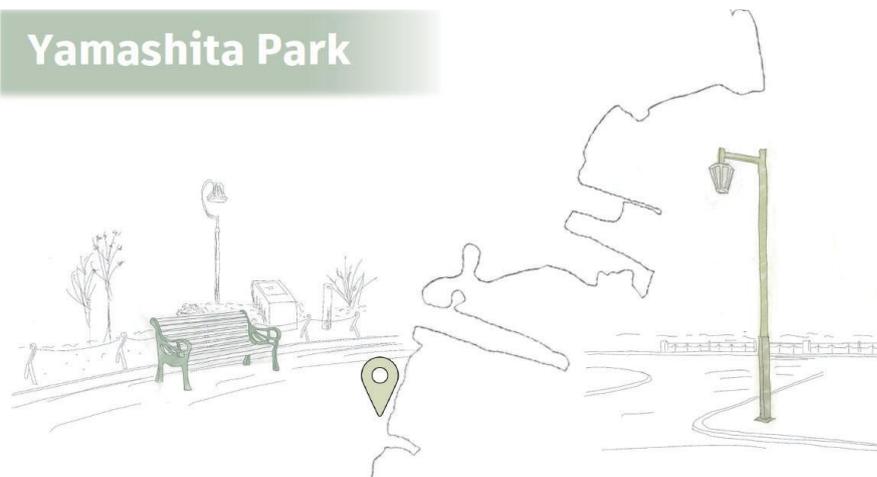
Yokohama Akarenga



Rinkou Park



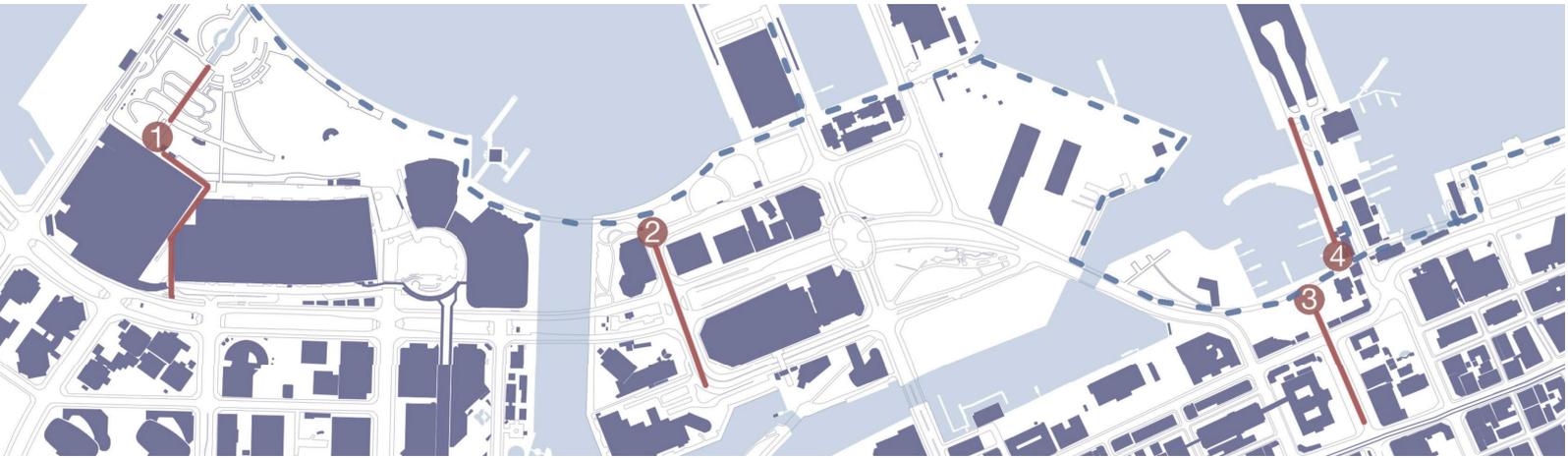
Yamashita Park



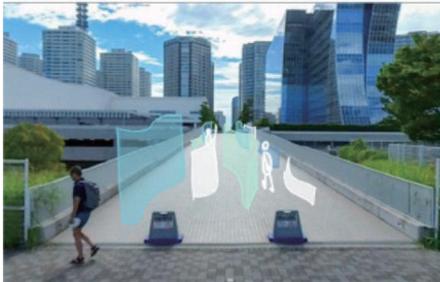
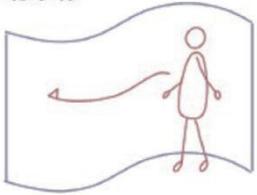
Zou no Hana Park



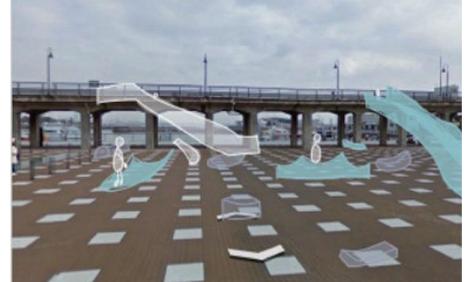
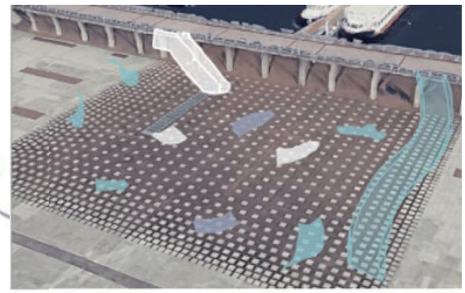
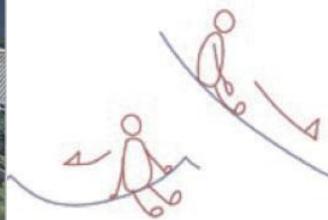
親しみやすいオノマトペで、海に向かう道を楽しむ提案



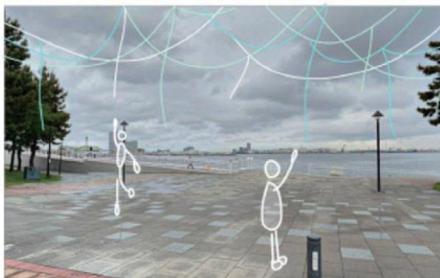
①うねうね



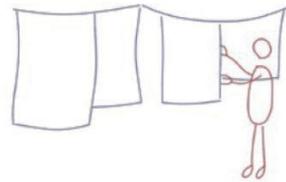
②すいすい

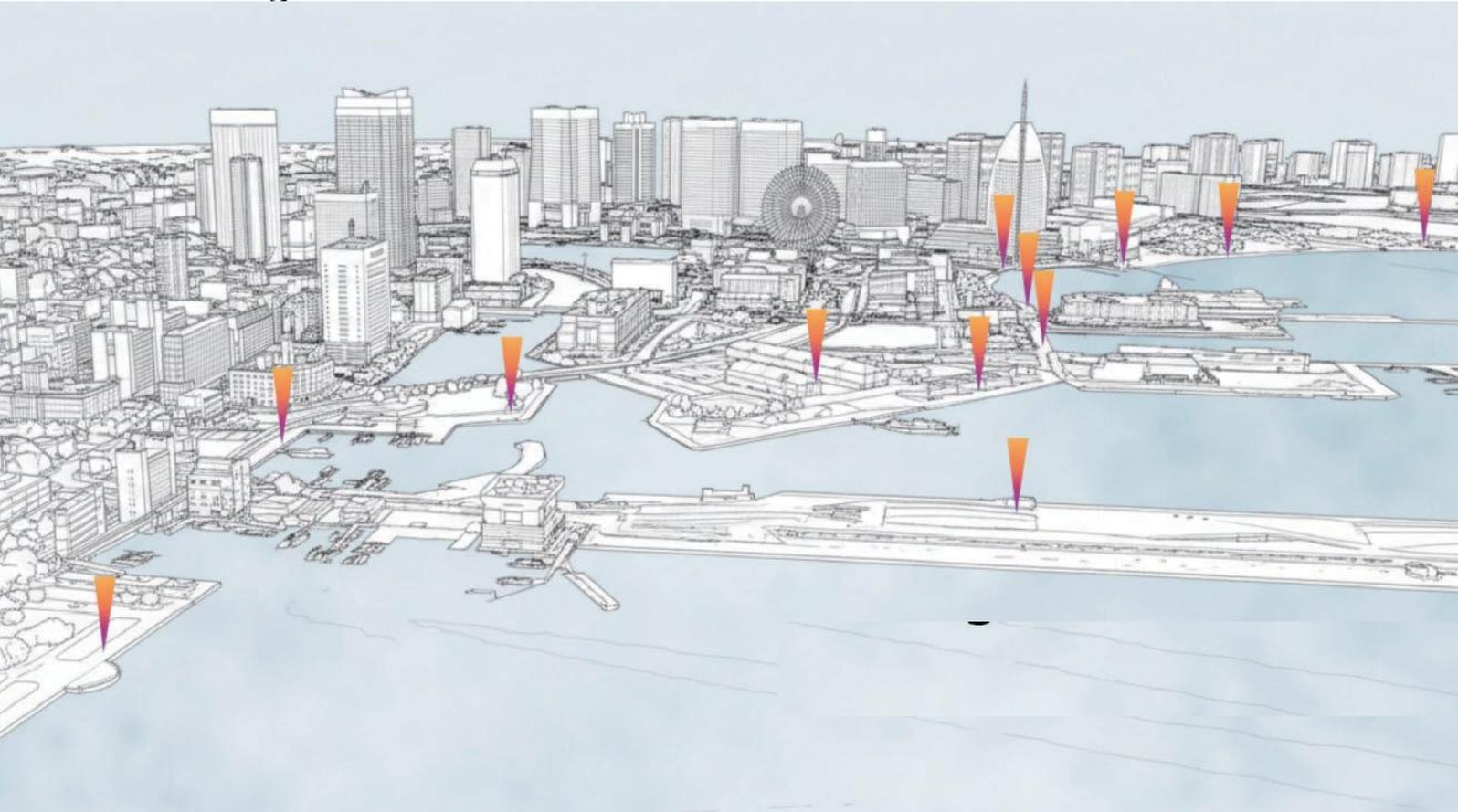


③ひらひら

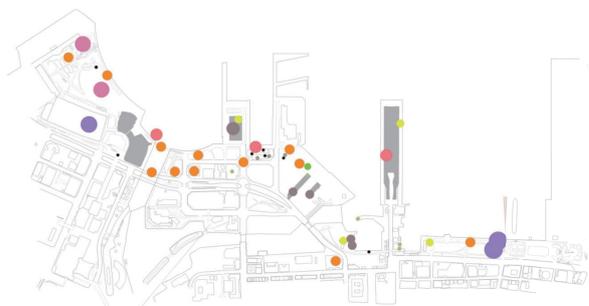


④ふわふわ





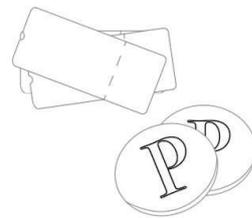
水際線におけるInstagram投稿分布図



「#水際線」付き投稿



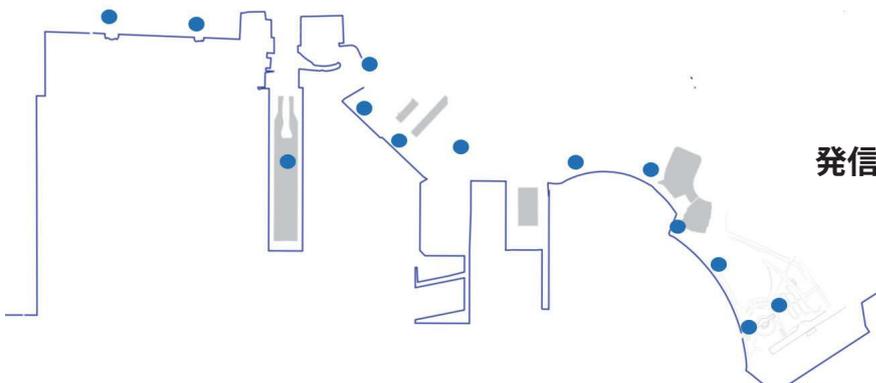
ポイント溜まる



水際線沿いの商店で利用



水際線沿いのフォトスタンド設置イメージ



発信して、知ってもらい、行きたいにつなぐ